



市議会だより

みやま^んギカイ

No.67 令和5(2023)年11月1日発行 令和5年8月臨時会・9月定例会の内容などをお伝えします。

新体制となった
みやま市議会議員16名



CONTENTS

P2～3	8月臨時会の概要等
P4～5	9月定例会の概要等
P6～11	一般質問
P12～14	委員会の報告など
P15	正副議長インタビュー 一部事務組合議会報告
P16	聞かせて!あなたの夢

新体制がスタート!

臨時第1回市議会

詳しくはこちら↓



会期 8月8日(1日間)

7月23日に行われたみやま市議会議員選挙において、16人の議員が選ばれ、8月1日から第6期みやま市議会がスタートしました。

8月8日に臨時会が開かれ、新しい体制が決まりました。議員の任期は令和9年7月31日までです。

副議長



まえはら たけみ
前原 武美(3期)
高田町今福

議長



うしじま としみ
牛嶋 利三(6期)
山川町立山

副委員長



うえつ はら ひろし
上津原 博(5期)
瀬高町大江

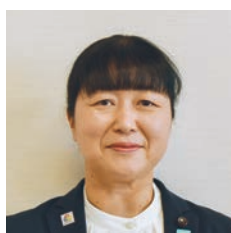
委員長



よしはら まさひろ
吉原 政宏(3期)
瀬高町下庄

総務常任委員会

総務部、市民部、消防本部、選挙管理委員会、監査委員等に関することを担当します。



おくその ゆみこ
奥菌 由美子(3期)
高田町江浦町



くろだ きよたか
黒田 清隆(1期)
瀬高町濱田



さんこだ ともひろ
三小田 智裕(1期)
瀬高町山門



議員名簿はこちらから→



保健福祉部、教育委員会に関することを担当します。

文教厚生常任委員会

副委員長



もろどみ まさや
諸富 正也(1期)
瀬高町小田

委員長



なかお まちこ
中尾 眞智子(6期)
山川町尾野



せぐち けん
瀬口 健(5期)
高田町今福



まえはら たけみ
前原 武美(3期)
高田町今福



もり ひろこ
森 弘子(2期)
瀬高町山門

副委員長



かわの かずひと
河野 一仁(2期)
瀬高町上庄

委員長



なかしま かずひろ
中島 一博(6期)
高田町江浦町



みやもと こいち
宮本 五市(6期)
高田町田尻



あらまき たかのぶ
荒巻 隆伸(5期)
瀬高町上庄



こが よしのり
古賀 義教(3期)
山川町尾野

環境経済部、建設都市部、農業委員会に関することを担当します。

産業建設常任委員会

※議会選出監査委員に、荒巻隆伸議員が選出されました。

※期数は合併後のものです。

こんなことが決まりました

—— 定例第3回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ——

一般会計

5億7401万8千円を追加し
総額 209億6018万6千円

補正予算の財源

○国庫支出金	8837万7千円
○県支出金	1629万6千円
○寄附金	200万円
○繰入金	2億5100万円
○繰越金	1億6934万5千円
○市債	4700万円

◆ 令和5年度 補正予算 ◆

定例第3回市議会では、令和5年度一般会計補正予算など議案10件、令和4年度水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の認定2件、請願1件、発議1件を審議し、全て可決、認定、採択しました。

会期 9月11日～22日(12日間)

定例第3回市議会

詳しくはこちら↓



一般会計補正予算 歳出の主なもの

産業団地造成工事費

3億8560万円

みやま柳川IC周辺において、新たな企業立地の受け皿となる産業団地の造成工事費を補正するものです。

ふくおかの畜産競争力強化対策費補助金

315万8千円

畜産の生産量を確保し、競争力を強化するため、牛舎改修及び車両整備に係る費用に対し補助するものです。

山川東部格納庫新築工事設計業務委託料

500万円

消防団再編計画に基づき、山川東部の3つの分団の老朽化した格納庫を1つに統合、新築するため設計業務委託料を補正するものです。

農業用施設・公共土木施設災害復旧事業

3020万円

令和5年7月の大雨により影響を受けた農業用施設（水路等）、公共土木施設（道路等）の復旧事業費です。

電力・ガス・食料品等価格高騰におけるみやま市支援策(第2弾)

プレミアム付き商品券を追加発行します

3400万円

- ・スマイルペイ(デジタル)のみ 2億円発行 プレミアム率25%
- ・1人あたり10万円まで購入可能(現在購入済分を含む) 11月上旬より随時申込

農業経営継続支援(施設園芸用燃油価格高騰対策事業)

2900万円

国のセーフティーネット構築事業に加入している施設園芸農家に対して、燃油価格上昇相対分に対し、10万円を上限に補助します。

漁業経営継続支援(漁業燃油価格高騰対策事業)

203万円

高田漁業協同組合、山門羽瀬漁業協同組合に対して、漁業者と国の拠出により価格上昇分を補填するセーフティーネット構築事業における積立相当額に対し、10万円を上限に補助します。

農林漁業者経営継続支援(出荷資材高騰対策事業)

2270万円

令和4年度と令和5年度の出荷資材経費の差額相当額に対し、出荷資材経費の低減に取り組み農林漁業者には1/4、ワンヘルス認証を取得し、その認証ロゴマーク付きの出荷資材で商品を出荷する農林漁業者には1/3を補助します。

学校給食・食材高騰支援事業

550万円

学校給食の材料費高騰による給食の質の低下を防ぎ、保護者負担が増えることなくこれまで通りの栄養バランスや量を保ったおいしい給食を子どもたちに提供するため、材料費高騰分を学校給食会に対し追加補助するものです。

請願

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について

全会一致で採択

国へ意見書を提出

選挙管理委員会委員の選挙

【選挙管理委員】



おおつ ちよみ
大津 千代美 さん
(瀬高町)



まつお まさはる
松尾 正春 さん
(瀬高町)



あさひ りつか
朝日 律香 さん
(高田町)



さかい おさむ
坂井 修 さん
(山川町)

【補充員】

よしかい ただふみ ふなき ながこ
吉開 忠文 さん・舟木 長子 さん
かいや いくお くわの せつこ
海谷 育男 さん・桑野 セツ子 さん

任期は令和5年9月21日から4年間で。

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



ここが聞きたい！

一般質問



一般質問って…？

一般質問とは、議員が市長等に対し、市の行財政全般にわたる事務の執行状況や、将来に対する方針等についての考えを問い、報告や説明を求めたり不明な点を聞いただったりするものです。

一般質問は、定例会だけに許されているもので、みやま市議会では、質問内容を事前に議長に文書で知らせる「通告制」をとっています。

当市議会では申し合わせで、質問時間は答弁時間を含めて1人60分と決めています。

また、当市議会には会派がないため、会派を代表して行う「代表質問」は行われていません。

責任を取るのが上司では

答弁／最終責任は市長



古賀義教 議員



問 税務課に続き事務処理ミスが起こり、今回も担当職員が一番重い処分を受けている。

公用車の車検切れに伴う処分は、誰が、どんな処分にしたか。

答 職員懲戒審査委員会で審議し、最終的に市長自身が判断した。

問 市役所の業務は個人が行うものではなく、市長の業務命令のもと組織として運営している。

「みやま市」のように担当職員のみが厳罰になる組織では、職員の気持ちが萎縮し、自発的に動く職員が減っていく。

熊本県のある町では9月5日、職員が水道事業の確定申告を忘れ、税務署に追徴税約60万円を支払った。水道課長・課長補佐・係長を懲戒処分（減給）、また町長と副町長も管理監督責任があるとして同等の減給にした。

このように責任を取るのが上司



平等な連帯責任を

であり仕事でもある。上司まで

平等な連帯責任を取れば、その組織の結束力と信頼関係が出来る。上司が逃げたら職員はついてこない。

今回のように自分自身や身内を裁くのは難しく、懲戒審査委員会のメンバーに第三者を入れて意見を聞く考えはないか。

答 事実ごとに必要であると判断した場合には第三者の意見を反映できるようにする。

誰一人取り残されない 不登校対策を

答弁／一層の推進に努める



奥蘭由美子 議員



問 文科省の調査では、2021年度の不登校の小中高生は約30万人で過去最多となった。特に小中学生は約24.5万人に上る。

市の不登校の子供たちの現状は。

答 本市の不登校者数は増加傾向にあり、特にコロナ禍以降に増加が顕著となっている。

適応指導教室「さくら」では、一人ひとりの学力に応じた学習支援、調理実習、工作活動、体育館での運動、教室外での体験活動などを行っている。

全く学校に行けない児童に対する支援では、スクールソーシャルワーカーによる教育相談や、学校・教育委員会と福祉・児童関係機関とでケース会議を行うなど、連携して支援に当たっている。

問 必要な支援は子供たち一人ひとりの状況によって異なるため、多様な支援が重要である。



山川支所別館の適応指導教室「さくら」

1人1台端末をもっと活用した学びの機会確保を考えては。

答 本市においても、端末のオンライン機能を使い、担任や養護教諭が健康観察や教育相談、学習内容のやりとりやコンテンツの活用などを行っている。さらなる活用を研究するなど、不登校対策の一層の推進に努める。

指定管理制度導入でガイド育成を

答弁／ゼロカーボンマイスターの活動の場に



中尾眞智子 議員



問 バイオマスセンターの研修施設は業務委託されている。民間活力を活用して住民ガイドを育成し、視察対応や環境教育、

ワンヘルスの啓発等の発信業務など、住民目線でのサービスの向上と効率化及びコスト削減などの効果を上げるべきだ。

答 現在、視察対応は市職員で行っている。本年度より、環境意識向上のため「ゼロカーボンマイスター」の育成に着手した。将来は認定者の活動の一つとして視察対応も視野に入れ、マイスターを増やしていきたい。

答 こみに関する冊子を活用し学び、各学校で創意工夫しながら進め、自分たちができることを家庭と連携して行っている。

問 研修施設の指定管理者制度導入をどう進めていくのか。

答 工場棟と研修施設の一体的な制度の導入が効果的と考えているが、個別の指定管理の可能性も併せて検討していく。

ほかに「5歳児健診の実施と支援システムについて」を質問しました。



大木町の住民ガイドの育成

待ってます。利用しやすいバス

答弁／6年度からやる



瀬口 健 議員



問 市議会議員選挙期間中、コミュニティバスの件で市民から多くの苦情をいただいた。この事は数年前から改善の要望が出ていたが進捗状況は。

答 今年作成した地域公共交通計画に基づき、デマンド交通や既存の交通資源を組み合わせた新たな交通体系の構築を目指す。

問 ぜひお願いする。ただ市民はいつから改善された交通手段を利用できるのか。

答 委員会等で決定すれば6年度から試行する。

問 決定すれば、ではなく「6年度からやる」と言えないか。市民は待っている。

答 6年度からやる。

問 勸奨退職者が昨年3名から今年11名に増える。理由の一つに

「仕事上」がある。一人でも「仕事上」の理由で早期に退職せざるを得ない事自体、重視すべき事件だ。この事を市長はどう思うか。

答 働きやすい職場づくりをしてきた。

問 何と言っても数字が物語っている。幹部は何をしてきた。ようやく叶えた公務員への就職。しかしやむなく早期退職。一人一人の人生を何と思っているか。職員の士気や街づくりに悪影響を及ぼす。大胆な改革必要。

答 適正配置、時間外の縮減、ストレスチェック等行い、元気なやりがいのある組織機構を図る。



改善が待たれるコミュニティバス

団体への補助金等と市の関わりは
答弁／まちづくりや活性化の
連携は必要



前原武美 議員



問 市民の安全安心や生活向上に向けた政策実行を各種団体が共助として肩代わりして行っているが、今後どのように進めていくのか。

答 現在、185団体が、市予算200億円の内16億3千万円の補助金にて、まちづくり・地域活性化に向け事業展開されている。

公民館活動や環境保全活動等数多くあり、活動されている団体のご意見を伺いながら、魅力あるまちづくりの事業展開を図っていく。

問 各事業に対する補助金交付要綱はあるのか。

答 全ての事業にはできていないので、早急に制定していく。

問 郷土愛の精神のもと展開されている事業に対し、市としてどのような指導支援を行っているのか。

答 まちづくりや活性化を進める上で、事業者との連携を取りながらさらに進めていく。

問 安全安心・活力あるまちづくりは、本来行政が行うべき事業と理解し、関係者との協議や指導を怠りなく行うべきである。

答 各種団体の協力を得て、本市のまちづくりが進められている事に対し、本当に感謝申し上げる次第だ。

また、今後も各種団体の皆様と連携を図りながら、より良いみやま市づくりに努めていく。



市民団体によるまちづくり

「見守りおむつ宅配便」導入を
答弁／事業化に向け検討する



吉原政宏 議員



問 令和4年度の年間出生数が156人と、少子化が顕著な本市では積極的な子育て支援が必要である。子育て経験者が1歳前後までの子どもがいる家庭におむつ等を宅配する事業で、子育て世帯の経済的負担の軽減や子育ての不安解消や孤立防止も期待できる「見守りおむつ宅配便」を行っている。

答 子育て支援に有効な事業と考え、事業実施に向け検討する。

問 本市の未婚率は福岡県平均より高く、婚姻件数は近隣市より少ない。少子化要因の一つと考える。市の結婚サポート事業の活用状況は不十分であり、企業や団体へ出向くなど積極的な事業の活用を。

答 直接企業へ出向くなど結婚サポートを積極的に推進する。

問 市立図書館瀬高館の空調が8月に長期間故障し市民にご不便ご迷惑をかけた。建設から25年経ち度々故障しており早急に抜本的な改修が必要では。また、図書館の改修事業費は過疎債（償還金の7割が国の交付税で補填されるもの）の対象となるのか。

答 これから改修計画を進める。また、環境面に配慮した大幅な改修などは過疎債の対象になると考える。

自治体名	人口 R5.8月末時点	年間出生数	年間婚姻件数
みやま市	35,032	156	83
大川市	31,819	192	101
筑後市	49,202	415	214
八女市	60,224	388	171
柳川市	62,603	335	181

出生数はR4年度分、婚姻件数はR3年度分
(厚労省 人口動態調査より)

住環境の整備を

答弁／新たな取組を調査研究する



三小田智裕 議員



問 雑草や樹木が生い茂る管理不全の空地に対し、市政はどのような対応を行っているか。

勧告するも改善しない案件についてはどのような対応をしているのか。

答 苦情や相談があつた空地については所有者を特定し、文書による改善勧告を実施している。改善しない案件については再度の勧告を行っている。

問 「みやま市環境を美しくする条例」を見ると、雑草問題に関する定めがない。条例の改正を含め、勧告が法的効力をもつものにできないか。

答 先進自治体の事案等を参考にし、早急に調査研究させてほしい。

問 市内には空き家が1000件以上あると認識しているが、空き家バンクの登録があまりにも少ない。

答 契約が成立した場合の奨励金の補助やリフォーム補助、解体補助を実施している。所有者等に対し空き家に関する相談チラシ等による周知を検討している。

問 移住・定住を促進する各種支援制度が整備されているが、利用が少ないものもある。

答 引き続き現在の制度を継続し、制度の改正や新たな取組の調査研究を行いながら、本市ならではのまちづくりに取り組んでいく。



放置された空き家と空地

フレイル予防とロコモ対策は

答弁／様々な介護予防事業に取り組んでいる



上津原 博 議員



問 高齢者の自立した生活や健康寿命の延伸を図るためには、生活習慣病などの重症化を予防するフレイル予防や、生活機能低下を防止するロコモの対策の双方を一体的に実施していくことが重要である。

答 みやま市社会福祉協議会に委託し、総合市民センター等の施設において運動機能を高めるレクリエーションや体操、運動指導等を「いきがい教室」で実施。

各地域のサロン等へ健康運動指導士、栄養士等を派遣して「介護予防普及啓発事業」や、市内5箇所で一般介護予防事業の「元氣クラブ」等を実施している。

問 3つのポイントでフレイル予防の推進を。

答 栄養、身体活動、社会参加が三位一体であり、それぞれの

予防に努めることが重要である。

社会参加については新型コロナウイルス感染症の流行で自粛が余儀なくされた。高齢化率が高い本市においては、フレイル予防を通して、ひとりでも多くの皆様が、元気で自分らしい暮らしを続けていただけるように、これまで実施してきた取り組みを広く周知し、さらなる支援をしていく。



3つのポイントでフレイル予防

出典：厚生労働省ホームページから引用
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000620854.pdf>)

三者で協議した経過は

答弁／その都度解消を図る



中島一博 議員



問 総合市民センターの雨漏り・インターロッキングの不具合等、覚書なり約款の規約の条項に基づいて、三者で協議した経過を伺う。

答 昨年9月に「覚書」を締結し、これに基づき、市・工事監理者・施工業者の三者で協議し、随時、目地や段差のチェックを行い、不具合が生じている場合はその都度解消を図る。

問 総合市民センターは完成後1年になるが、雨漏り・インターロッキング不具合はどうなっているか。

答 10月、11月にかけて屋根の鋼板をはがしての散水調査を行い、防水シートはすべて張替えて、鋼板を元通りに施工しており、これ以降の施設内への雨漏りは発生していない。

問 インターロッキングとの兼ね合いが取れていない。透水舗装の南西側を剥がして、山砂が流れていないか検証してはどうか。

答 提案どおり、剥がして検証してみる。

問 完成図書の提出後、雨漏り・インターロッキングの不具合等、精査されたのか。

答 表面は分かるが中まで精査しにくい。



1周年を迎えたMIYAMAX(みやまつくす)

高齢者へのデジタル化は

答弁／配慮が足りなかった



森 弘子 議員



問 物価高騰による影響を受けている市民の皆様の支援策として、スマートフォンに3千円分のデジタル地域通貨ポイント(みやまんコイン)を支給しますというお知らせが全世帯に届いた。高齢者は、どうすればよいのか分からない方も多く、困っている方がたくさんいる。

答 本市から市外に流出するお金を減らすため「みやまんコイン」を導入した。

最初の文書で、スマートフォンを持つていない方には「クオカード」を3千円分交付する事などの説明が不足していた。

問 この「みやまんコイン」を付与されても使えるお店が少なく、買いに行けないという買い物困窮者がいる。高齢者の中には、たまにはショッピングセンターに

直接行って、買い物を楽しみたい人や、移動手段がないので玄関先に移動販売に来てもらって買いたい人など、ニーズが色々ある。

答 校区によっては、買い物バスツアーと市内商店の移動販売を組み合わせ、実施しているところもある。



全世帯に送付されたみやまんコイン引換券

委員会報告



文教厚生常任委員会

〔定例会報告〕

9月19日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件と請願1件について審査しました。

議案「みやま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について」は、法令改正により、保育所保育指針の制定権限などについて厚生労働大臣を内閣総理大臣と改めるなど、規定の整理を行うものです。

議案「みやま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」は、規制の緩和により、研修の終了予定者も放課後児童支援員に見なされることとなり、この研修終了予定者の範囲を新たに規定に加えたものです。

いずれも慎重審査の結果、全会一致で原案の通り可決すべきものと決しました。

請願は、ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書の提出を求めるもので慎重審査の結果、採択すべきものと決しました。



産業建設常任委員会

【定例会報告】

9月20日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案7件等について審査しました。

その他、令和5年度みやま市一般会計補正予算（第3号）の所管分について、審査を行いました。

議案「工事請負契約の締結について」は、みやま市清掃センター解体撤去工事に伴い、その予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の議決を求めるものです。

旧ごみ焼却施設の工場棟、煙突及び重油タンクを解体撤去し、埋戻し整地を行うもので、契約締結後ただちに着工し、令和7年3月15日の完了を予定しています。

その他「令和4年度みやま市水道事業剰余金の処分及び決算の認定について」などのいずれの議案も、慎重審査の結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。



総務常任委員会

【定例会報告】

9月21日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案3件について審査しました。

議案「みやま市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について」は、印鑑証明書の交付申請において利用者証明用電子証明書の利用による証明書の発行を可能とすること。また窓口での印鑑登録事務を現状に合わせて条例を整備するものです。

議案「みやま市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について」は、蓄電池の規制の見直しや、換気、点検及び整備に支障のない距離、消防長への届出などについて変更するものです。

議案「みやま市過疎地域持続的発展計画の変更について」は、県道瀬高停車場線周

辺の街路灯整備事業に対応するため「駅周辺整備事業」を、小中学校のワンヘルス教育の推進のため「小中学校ワンヘルス教育推進事業」を、ワンヘルスの理念に基づく取組として「ワンヘルス推進事業」を追加するものです。

慎重審査の結果、いずれも原案通り可決すべきものと決しました。

令和5年度みやま市一般会計補正予算の所管分についても審査を行いました。



議会運営委員会



前列左から、
上津原博(委員長)、古賀義教(副委員長)
後列左から、
中島一博、中尾眞智子、森弘子、吉原政宏

議会運営委員会は、議会の運営に関することや議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問に関することなどを審議し議事をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。

定例会の日程、本会議の進行手順、議会に関するルール

など議会運営全般について協議や意見調整を行います。
このたびの改選で、新たな委員構成となりました。委員は次の6人です。



議会報編集特別委員会



前列左から、
古賀義教(委員長)、奥蘭由美子(副委員長)
後列左から、
河野一仁、三小田智裕、中尾眞智子、諸富正也

議会報編集特別委員会は年に4回、定例会終了後に、市議会だより「みやまんギカイ」を発行しています。
市議会の活動について、市民のみなさまにできるだけわかりやすくお伝えし、読んでみたくなるような紙面づくりを目指しています。
みなさまに親しまれ、より深く議会活動を理解していただけるよう、心がけてまいります。
このたびの改選で、新たな委員構成となりました。委員は次の6人です。

特別委員会って？

「特別委員会」は、ある特定の問題について調べたり、研究したりするために置かれるもので、その目的が終われば廃止されます。

現在、みやま市議会では、「議会報編集特別委員会」が置かれています。

正副議長インタビュー



牛嶋議長

新体制となり、どんな議会を目指したいですか？

議長「やはり移住・定住対策をしっかりやらないと。少子化や人口減少といった根本的な原因について、立て直しができるようなひとつづつ改善していく必要がありますね。また、新しく3人の方が議員となられ、若い方たちにどんどん活躍してもらって、私たちのほうも叱咤激励されながら議会づくりができたらいいいですね。」

副議長「若い世代に意識を持ってもらうために、議会を体験してもらいたいと思います。そういった場を作り、まず親に体験してもらい、子どもにその姿を見せ、話をする事で伝わっていくと思います。それに若い世代と感覚が違うと思うので、私たちも直接聞いてみたいです。」

議会を身近に感じてもらうためには？

議長「距離を感じてある方もいらっしゃると思います。だから私たちのほうから市民の貴重な意見を拝聴させてもらいたいという姿勢や、話しやすい雰囲気づくりが必要ですね。」

副議長「市民が話をしやすい環境を作っていくことが必要です。そのためにはこちらから積極的に声の届くところに動いていかないといいけませんね。」



前原副議長

有明生活環境施設組合議会

8月25日、みやま市議会議員改選後初めてとなる組合議会臨時会を開催しました。

臨時会では、みやま市議会議員改選に伴い組合議会の議長が不在となりましたので、議長選出を目的に開催されたものです。選挙は指名推選で行われ、みやま市の古賀義教議員が組合議会議長に就任しました。

組合は、火葬施設「有峰苑みやま柳川」と、ごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」の管理運営業務を担っていますが、このたび新体制での議会運営がスタートすることとなりました。

【本市選出議員】

三小田智裕、黒田清隆、奥蘭由美子、古賀義教、瀬口健

柳川みやま土木組合議会

8月23日に令和5年第2回定例会を開催しました。

「令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定」「監査委員の選任について」の2議案が上程されました。

令和4年度の決算につきましては、歳入総額3億732万1567円、歳出総額2億9069万8293円、差引残額1662万3274円となり、この内、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額1662万3274円となり、このうち840万円を地方自治法第233条の2の規定により財政調整基金に積立、残り822万3274円を令和5年度に繰り越しました。

次に、監査委員の選任につきましては、みやま市の監査委員でもある河野信祐氏が選任されました。

いずれも慎重審議の結果、原案のとおり認定、可決承認及び同意されました。

また、会議冒頭に議長選挙が行われ、みやま市選出の河野一仁議員が議長に就任しました。

【本市選出議員】 河野一仁・森弘子・宮本五市

聞かせて! あなたの夢



瀬高中学校 2年

ひらかた の あ
平方 乃愛さん

将来の夢

私の将来の夢は、笑顔を絶やさない看護師になることです。病気や怪我で入院する患者さんにとって、看護師の笑顔は不安な気持ちを和らげることができると思うからです。そして、患者さんに寄り添い、信頼してもらえるような看護師になりたいと思っています。

私に今できることは目標に向かってしっかりと勉強していくことだと思います。看護師として働く母の姿に近づくために、一日一日を大切に積み重ねていきます。



みやま市マスコットキャラクター
くっぴー

編集委員

委員長 古賀 義教
副委員長 奥園由美子
委員 諸富 正也
委員 三小田智裕
委員 河野 一仁
委員 中尾眞智子

《次回定例会》

12月4日(月)

からの予定です。



インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ「み
やま市議会」の「イ
ンターネット中継」か
らご覧ください。

編集後記

8月より議会編成が変わり、市議会だよりの編集委員も新しくなりました。

市議会だよりは、市議会の活動を市民に周知するとともに、理解と認識を深めていただくことを発行の目的としています。

「みやま」の発展のためには、市民の一人一人が政治に関心を持つていただくことも大切です。

「議会」のありのままの姿と正しい情報の発信に心がけ、市民の皆様「議会」を身近に感じていただき、手に取っていただける「みやま ん ギカイ」を目指します。

「みやま ん ギカイ」の紙面・内容は市民目線で分かりやすく、読んでもらえるように努力してまいります。

編集委員長 古賀 義教

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>